

～未来をひらく男女共同参画社会～

農山漁村を支える女性たちのチカラ



北陸農政局「消費者の部屋」

展示期間：令和7年6月2日（月）～6月30日（月）



【未来をひらく男女共同参画社会】①



内閣府男女共同参画局 ホームページ
<https://www.gender.go.jp>



男女共同参画局 Facebook
<https://www.facebook.com/danjokyodosankaku>



男女共同参画局 X
<https://x.com/danjokyoku>

毎年6月23日から29日までの1週間は

男女共同参画週間

男性と女性が、
職場で、学校で、地域で、家庭でそれぞれの個性と能力を発揮できる
「男女共同参画社会」
その実現のためには、政府や地方公共団体だけではなく、
国民のみなさん一人ひとりの取組が必要です。
この機会に、男女のパートナーシップについて考えてみませんか。

— 第5次男女共同参画基本計画 —

男女共同参画社会基本法に基づき、政府が策定する基本計画です。
令和2年12月25日に閣議決定しました。

目指すべき社会

- ① 男女が自らの意思に基づき、個性と能力を十分に発揮できる、公正で多様性に富んだ、活力ある持続可能な社会
- ② 男女の人権が尊重され、尊厳を持って個人が生きることのできる社会
- ③ 仕事と生活の調和が図られ、男女が共に充実した職業生活、その他の社会生活、家庭生活を送ることができる社会
- ④ あらゆる分野に男女共同参画・女性活躍の視点を取り込み、SDGsで掲げられている包摂的かつ持続可能な世界の実現と軌を一にした取組を行い、国際社会と協調する社会

【未来をひらく男女共同参画社会】②

農林水産業の発展、農山漁村への人材の呼び込みのためには…



女性が働きやすく暮らしやすい農山漁村にすることが重要であり、女性が地域の方針策定に参画し、女性の声を反映させていくことが必要です。

北陸4県の現状はどうか？



◇農業委員に占める女性の割合

	現状（令和5年）			第5次男女共同参画基本計画の 成果目標（全国）
	委員数	女性農業 委員数	割合（%）	
全国	23,029	3,216	14.0	女性の割合： 20%（早期） 30%（令和7年度）
新潟	488	65	13.3	
富山	258	33	12.8	
石川	258	39	15.1	
福井	237	37	15.6	
北陸合計	1,241	174	14.2	

農林水産省「農業委員への女性の参画状況」（令和5年10月1日現在）

◇農業協同組合の役員に占める女性の割合

	現状（令和6年）			第5次男女共同参画基本計画の 成果目標（全国）
	役員数	女性役員数	割合（%）	
全国	13,430	1,501	11.1	女性の割合： 10%（早期） 15%（令和7年度）
新潟	287	36	12.5	
富山	324	35	10.8	
石川	352	41	11.6	
福井	69	6	8.7	
北陸合計	1,032	118	10.9	

JA全中「JA女性役員等調査」（令和6年7月末現在）

◇土地改良区（土地改良区連合を含む。）の理事に占める女性の割合

	現状（令和6年）			第5次男女共同参画基本計画の 成果目標（全国）
	理事数	女性理事数	割合（%）	
全国	44,557	614	1.4	女性の割合： 10%（令和7年度）
新潟	831	8	1.0	
富山	886	6	0.7	
石川	684	4	0.6	
福井	1,463	5	0.3	
北陸合計	3,864	23	0.6	

農林水産省「土地改良団体における女性理事登用状況」（令和6年3月31日現在）

◇認定農業者数に占める女性の割合

	現状（令和6年）		第5次男女共同参画基本計画の 成果目標（全国）
	割合（%）		
全国	5.5		女性の割合： 5.5%（令和7年度）
新潟	2.7		
富山	4.5		
石川	3.4		
福井	12.4		
北陸合計	3.7		

農林水産省「農業経営改善計画の営農類型別等認定状況」（令和6年3月末現在）



◇家族経営協定の締結状況

	現状（令和6年）		第5次男女共同参画基本計画の 成果目標（全国）
	締結数		
全国	59,587		70,000件（令和7年度）
新潟	1,272		
富山	293		
石川	307		
福井	310		
北陸合計	2,182		

農林水産省「家族経営協定に関する実態調査」（令和6年3月31日現在）

「家族経営協定」とは、家族農業経営にたずさわる各世帯員が、意欲とやりがいを持って経営に参画できる魅力的な農業経営を目指し、経営方針や役割分担、家族みんなが働きやすい就業環境などについて、家族間の十分な話し合いに基づき、取り決めるものです。

【未来をひらく男女共同参画社会】③

北陸農政局 農山漁村 男女共同参画優良事例表彰

北陸農政局の管内において、農林水産業、農山漁村における男女共同参画の実現を目指して、経営参画や社会参画等の優良な取組を行っている方を表彰し、その活動事例を広く紹介しています。

令和6年度の受賞者

新潟県佐渡市	知本 チサ氏
富山県魚津市	もちもちハウス
石川県白山市	北村 亜沙美氏
福井県坂井市	牧野 典代氏

関連コンテンツ



北陸農政局農山漁村
男女共同参画優良事例表彰



女性の活躍を応援します
(北陸管内の取組等)

令和6年度北陸農政局農山漁村男女共同参画優良事例表彰受賞者

令和6年12月時点の情報です

新潟県佐渡市 知本 チサ氏

平成24年に、葉タバコ農家から、野菜専門の農家となり、夫とともに砂地を活かした根菜類を中心とした野菜の周年栽培を行う。

平成26年8月に開設された、佐渡市最大の直売所施設「新鮮空間よらんか舎」の準備委員会の委員長として、地域の意思決定の場に参画。開設後3年間は、運営委員会の委員長を務め、直売所の運営及びさらなる発展に尽力。佐渡市の農家の所得向上に繋げた。

また、令和6年に入部50年以上となるJA佐渡女性部の本部長に就任。近年では若手就農希望者に対して、ほ場見学やアドバイスをを行い就農に導くなど、指導者として力を発揮し、農村女性活躍の推進に取り組んでいる。



新鮮空間よらんか舎について

佐渡全域から旬の農産物や加工品が集まる農産物直売所。令和6年8月に10周年を迎えた。スーパーマーケット併設型の直売所で、利便性がよく地元の消費者に親しまれているほか、佐渡ならではの品を求める観光客も多く訪れる。知本氏は開設時より各種委員を務めながら、夫と協力してほぼ毎日新鮮な野菜を出荷している。



栽培中のごぼう



栽培中のキャベツ



若手農業者の里芋畑を訪れる様子

【未来をひらく男女共同参画社会】④

令和6年度北陸農政局農山漁村男女共同参画優良事例表彰受賞者

令和6年12月時点の情報です

富山県魚津市 もちもちハウス

もちもちハウスは、松倉地区の女性4人で構成されるグループで、平成18年に開設された、農産物直売市「松倉もちより市」の役員や事務局として意思決定の場に参画するとともに、他の直売市との差別化を図るため、家庭のおやつであった草餅等を商品化。「松倉もちより市」の近くに加工室を設置し、製造拠点を整え、地域で栽培した米を使い、「松倉もちより市」を中心に、餅製品の他、伝統食である押しずしを販売し、家庭では作られなくなった伝統の味を守り続けている。

近年では、もちもちハウスが長年続けてきた地域活性化の取組が波及し、「松倉もちより市」の敷地内に、若手農業者が飲食店兼農産物販売所を開設するなど、地域に好影響を与えている。もちもちハウスのメンバーは、商品の提供や活動を手伝うなど、若手農業者との交流を通じて、里山の知恵と豊かさを次世代に繋ぎたいと考えている。

もちもちハウスのこだわり

地域で栽培したもち米を主原料に、作り置きをしない手作りのあんこや、香り高く柔らかいよもぎを贅沢に使用することにこだわり、多くのファンを虜にしている。



草餅製造の様子



うぐいす色のきなこ粉が特徴の餅製品



お客さんで賑わうもちより市

令和6年度北陸農政局農山漁村男女共同参画優良事例表彰受賞者

令和6年12月時点の情報です

石川県白山市 北村 亜沙美 氏

農事組合法人井口グリーンワークス^{いのくち}加工部門リーダー。組織において、複数の部門に関わり、加工品製造や、販売の場でリーダーシップを発揮している。農業女子いしかわの活動を通じ、マルシェ等に積極的に参加。Instagramを活用した情報発信を行い、集客に貢献。マルシェの出店にあたっては、売り上げを伸ばすことだけでなく、スタッフに消費者を知ってもらい、商品開発のアイデアや、やりがいに繋げること、普段別の作業をしているスタッフ同士のコミュニケーションを深めることを目的としており、働きやすい環境づくりに尽力している。さらに、農業体験や小学校のゲストティーチャーを引き受けるなど、次世代に農業の魅力を伝える活動を精力的に行っている。



農事組合法人井口グリーンワークス^{いのくち}について

石川県白山市の集落営農組織。機械作業体系により、水稻、大麦、大豆を生産するとともに、平成22年から女性や高齢者の労働力を活用した野菜生産と、自社大豆を用いた加工品製造に取り組んでいる。



Instagram



加工品製造の様子



北村氏が商品開発をした大豆菓子ソイージー



マルシェ出展の様子

令和6年度北陸農政局農山漁村男女共同参画優良事列表彰受賞者

令和6年12月時点の情報です

福井県坂井市 牧野 典代 氏

有限会社アグリ・エス・ケーにおいて夫とともに共同代表を務め、リーダーシップを発揮。経営者として、仕事と生活のバランスに配慮した働き方を推進。男女の区別なく同じ仕事をすることにより悩みや作業負担を分け合うことができるといった考えから、栽培に必要な多数の免許を取得している。



また、長年にわたり坂井市農業委員として地域のために力を発揮。農業委員の知識や経験が農業に携わるうえで、役に立つという実感から、できるだけ若いうちに農業委員になるほうが良いと考え、候補者の掘り起こしをしている。加えて、遊休農地の解消や、食育の推進、農業体験、担い手の育成に関する取組を行い地域の活性化に貢献している。

有限会社アグリ・エス・ケーについて

福井県坂井市で、水稻を中心に大麦、大豆、そば、園芸の大規模農業経営を展開。牧野氏は夫とともに共同代表を務め、生産面ではトマト部門のリーダーとして、栽培システムでの環境管理（ICT管理）、作業スケジュールの調整、注文管理等を担当。地元の遊休農地を活用したユウカリ、スモークツリー等の花木の栽培、販売も行っている。



栽培中のミディトマト



真っ赤になってから収穫することにこだわっている



遊休農地を活用した花木の栽培

日本各地で活躍中！女性農業委員の活動事例

農業委員・農地利用最適化推進委員に最も期待されていることは、農地利用の最適化、つまり担い手への農地の集積・集約、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進により、高地を次の世代についでいくことです。そのために取り組む価値は様々ですが、全国の女性の農業委員・農地利用最適化推進委員が自分のできごとを活かしながら活動しています。

女性委員が行った活動には、こんなものがあります！

- 担い手への農地の集積・集約のために…**
 - 農地バンクリーダーとなり、円滑な話し合いを促し、集約につなげた
 - 地域住民の意向をアンケート調査し、その結果を基に、集約の場をつくった
 - 女性農業委員や農学博士女子学生・女子学生を対象に「1日女性農業委員」を開催し、集約の重要性や実践の体験を促した
- 新規就農者の参入促進のために…**
 - 農業委員が営んでいる作物にあった農地や住む家を一棟に集したり、優良な土地の情報を発信するなど、多岐にわたる支援を行った
 - 女性農業委員が地域のたけなわ、新規就農者と地元の農業者、自らの知恵や経験を生かして

地域のため、地域農業のため、あなたなら、どんな活動に挑戦してみますか？

農業委員・農地利用最適化推進委員になる方法

2つの方法により、委員になることができます。

- 本人による応募
- 農業関係の法人や団体による推薦

3年に一度の任期を有しており、1か月間の募集期間を設けており、応募または推薦ののち、選定委員の上、決定されます。なお、委員の定数は市町村別の農地規模等に応じて決まっています。市町村または農地利用最適化推進委員に就任に関する情報が掲載されていますので参考にしてください。

農業委員会とは

地域の農業、農村の発展のため、市町村に設置されている行政委員会です。所管する農業委員、農地利用最適化推進委員は、農地や農産物の活用される地域に根ざした活動を行います。『期間の女性農業委員の1日』の活動はこんな感じ！とあった方は、ぜひ参考にしてみてください。

資料と併せて掲載する動画は、[こちら](#)よりご覧ください。

女性農業経営者3名に聞いた、「わたしのターニングポイント」

一步踏み出すわたしの農業経営ヒントBOOK

Q. 農業界で、女性が活躍するために必要だと思うことは？

- 「タイミングと、自分の意見を持つこと」** 大塚 さん

女性が活躍し始めるには、タイミングが重要で、子育てがひと段落する頃になると良いです。そのときまで、農業界の理事や委員に就いた女性から経験を学んでおいて、「早くからいい」思いをもち、「自分なりの考え」と考えながら大切にしていきます。役割を頼める女性の数を増やし、みんなで応援していきたいです！
- 「飛び出す勇氣」** 大塚 さん

農業に携わる女性が、農業だけをするのはもったいない！農業の経営発展についても、前のめりな向き合ってください。まずは、勇気をもって外に出てみる。地域の方や農業者、農外の女性農業委員と出会うことができると、新たなアイデアや活動の原動力をもらえると思います！
- 「説得より行動」** 井上 さん

農業で有難い経験だと、挑戦したいことと反対されることも多いと思います。そういうときは、挑戦したいことを明確にして、一歩でも外に出て、行動することが大事だと思います。そして、行動した上で、数字で結果を出すことで、結果が出るまでやり続けることで、まわりの見る目も変わります！

一步踏み出してみたい！と思ったあなたへ

動画や資料を見て、さらに学びたい仲間に出会いたいと思われた方は、ぜひ以下の二次元コードでWEBサイトをご覧ください。

- ◎ 経営者アップのためのスキルアップ
- ◎ 新規参入のためのアイデア整理の方法
- ◎ 収入が伸びない原因を突きとる

など様々なテーマの動画をオンラインで無料公開しています。

3名の女性農業経営者をお話し、ご自身のターニングポイントや女性が活躍するために必要なポイントをお話ししました！「自分ごと化、どんな経営者になりたいか」や「自分ごと化、どんな経営者になりたいか」や「自分ごと化、どんな経営者になりたいか」

資料と併せて掲載する動画は、[こちら](#)よりご覧ください。

© 2024 北陸農政局 農山漁村男女共同参画推進課

【未来をひらく男女共同参画社会】⑥

農業委員ってどんなお仕事？ 農業と委員の仕事とどのように両立しているのだろう？

女性農業委員の1日に密着しました！



ひまな 史絵さん [富山県黒部市農業委員会]

- プロフィール**
- ・富山県黒部市生まれ
 - ・農業委員2期目(4年目)
 - ・(株)NOROSHI FARM 取締役
 - ・30ha規模で米を生産。おやき、おにぎりなどの加工品販売も行う。

稗苗さんのある1日のスケジュール

- 06:00 朝礼 / 会社の事務作業**

毎朝スタッフ全員で朝礼をして、各自のやることを共有！稗苗さん中心にメール対応など事務作業と加工業務をするチームと、生産管理をするチームに分かれて作業をスタート。

8月にオープン控えるおにぎり屋さんのために、スタッフみんなで握り具合や具の味付けの試作。お米を買ってくださる常連さんが来てくれて、うれしいフィードバックも。
- 10:00 担当地区の見回り** 委員

松倉地区の委員と一緒に、農地の見回り。先輩委員に土地の由縁も教わる。
- 14:00 農業委員会への出席** 委員

農業委員2期目のはじまり。新たな気持ちで、地区のことを学びながら進んでいく。



かさほら 尚美さん [新潟県阿賀野市農業委員会]

- プロフィール**
- ・新潟県阿賀野市生まれ
 - ・農業委員8期目(24年目)
 - ・「にいがた女性農業委員の会」会長
 - ・笠原農場として、米、枝豆、切り花を生産。
 - ・全国農業委員会女性協議会副会長

笠原さんのある1日のスケジュール

- 06:00 田んぼの草取り**

機械では取れない草を手で刈っていく。暑いので早朝作業！
- 10:00 担当地区の見回り** 委員

旧京ヶ瀬村全域の地区総括として、宮農の傍ら農地を見守る。
- 13:00 農業委員会4役との打ち合わせ** 委員

2023年度の大きな動きは「地域計画の策定」。地区ごとに情報共有をして、阿賀野市全体の進み具合などを確認する。
- 14:00 地域計画説明会対応** 委員

京ヶ瀬地区の各集落代表が集まり、今後の流れや方針の共有。様々な意見が飛び交ったが、ひとつ前進。



全国の女性委員のネットワークがあり、味方になってくれる方たちがいます。地域でも熱い思いを伝えれば、必ず助けてくださる方がいます。地域での活動や人脈の幅も広がりますので、ぜひみなさんに農業委員になってもらいたいです！(稗苗さん)



農家さんの話をよく聴いて、その話のなかから何をすべきなのかを見つけていくようにしています。農地のあっせん業務も、地域計画も、その先の地域農業をつくっていくところでも、「人の思いを聴く」ということは同じだと思っています。(笠原さん)

※取材は2023年7月に行われました

「農地法」はどうやって勉強する？

農業委員になったら、難しい「農地法」を勉強しないといけないのでは心配される方もいらっしゃるかと思います。もちろん個人の勉強が必要な部分もありますが、委員になった方には、農地法のテキストブックの配布や、市町村によ

て「農地法の研修会」も実施され、新任委員へのフォローアップが行われています。わからないことは気軽に事務局に相談できますので、安心して委員になることができます。



農業委員が関わる「地域計画の策定」とは？

地域計画とは、おおむね10年後の地域の農地利用の姿を具体化するもので、農地一筆ごとに耕作者を特定していきます。計画の策定にあたって農業委員会は、農業を担う者ごとに利用する農地を示した地図(目標地図)の案作成や、目標地図を作成するための意向把握(戸別訪問やアンケートによる)、地域の話し合いへの参加などの役割を担います。10年後にも今と同じ

姿で地域の農業を続けていくためには、地域が一体となって、この計画作りに取り組む必要があります。農業委員と農地利用最適化推進委員は、地域の話し合いの中で、農業者の意見を丁寧に聴き取りながら、地域に根付いた計画となるように協力していくことが期待されています。

【未来をひらく男女共同参画社会】⑦

性別に基づく一方的な思い込み ～地域における役割・分担の再点検～

私たちの地域は、様々な人が力を出し合い、支えています。同時に、私たちは時に自分たちの役割や仕事の分担、地域への関わり方などを、「性別」によって決めつけてしまうことがあります。これは「固定的な性別役割分担意識」と呼ばれ、受け止める相手の気をなくしたり、組織のパフォーマンスを落とすなど、個人や地域・社会にマイナスの影響を及ぼすことがあります。様々な人が地域や組織で能力を発揮していくには、性別に関係なく、皆が意見や挑戦しやすい環境作りが欠かせません。今回、実際に農業に従事する方々の声をもとに、私たちを取り巻く性別に基づく一歩的な思い込み（固定的な性別役割分担意識）に関する研修用の映像を作成しました。

女性をはじめ、誰もが活躍できる地域や組織の構築を目指し、身の回りに性別に基づく一方的な思い込みはないか、現状を振り返ってみませんか？

動画では、性別に基づく一方的な思い込み(固定的な性別役割分担意識)をテーマにした3つの再現ドラマと問題のポイントを紹介しています。

動画視聴はこちらから

<https://myfarm.co.jp/women/empowerment/>
(映像の長さ:21分43秒)



身近にある性別に基づく一方的な思い込み (固定的な性別役割分担意識)の例

CASE 1



「女性は機械操作が苦手だから、
機械のことは男性が決めた方がいい」

女性も機械を使う作業をしている。
それなのに機械のことを男性が全て決めるのは疑問。



CASE 2



「女性や嫁の仕事や意見は補助的なもの」

女性や嫁の仕事や意見を「補助する役割」と
決めつけられてしまうのは不安。



CASE 3



「農産物の加工や加工品販売は女性の仕事」

加工の仕事は女性だけの仕事ではないのに、
スキルを伸ばさず残念。



トップが導く女性活躍 ～JAみなみ筑後の事例から～

組織のトップが女性活躍を先導
JAみなみ筑後の皆さまを取材しました



女性は農業を支える重要な担い手です。

農業・農村の発展のためには、女性農業者が自身の農業経営だけでなく、農業委員会や農業協同組合、土地改良区といった地域の方針策定に参画していくことが重要です。

この取組を進めるためには、組織トップのリーダーシップが欠かせません。

トップが女性活躍を先導したJAみなみ筑後での取組を事例として、

女性登用の必要性や、検討過程などにおける、

当時と現在の組合長をはじめとした関係者の思いをご紹介します。



JAみなみ筑後
総務部長
鍋田 博敏 さま

JAみなみ筑後について

JAみなみ筑後では、理事として4名の女性が活躍しています(令和6年3月末時点)。令和3年度に総定数を削減し、女性総定数を増やす取組、同様に理事の定数削減を実施。女性理事の選出を、女性部枠2名選出から、地域枠4名(全理事の20%)選出へ変更しました。

Q 「女性の参画を進めようと思った理由は？」

福岡市内での研修会に参加したとき、
会場を見渡すとほとんどが男性でした。

そのときに講師の先生から

「女性がいないじゃないか」といわれ、
その言葉が印象に残り、強い問題意識を持ちました。

農業の現場では女性の活躍が欠かせないのに、
意思決定の場に女性がいないのはおかしいと感じました。

組織として女性の参画を進めるため、
女性理事の増員に取り組むことを決めました。



JA福岡中央会会長
元JAみなみ筑後代表理事組合長
乗富 幸雄 さま

取組への流れと効果

女性の姿が見えないとの気づき

福岡市内の研修会に参加した際、
講師から「ここには女性がいない」と指摘を受けた。会場を見渡すと、ほとんどが男性だったことに強い問題意識を持ち、意思決定の場に女性が少ない現状を改めるため、役員体制の改革を決意。

女性を地域の代表として選出する仕組みづくり

JAグループ福岡で設定している女性理事15%の目標の達成に向け、女性理事の増員に向けた取組を開始。具体的には、女性理事の選出を「女性部枠」から「地域枠」に変更することで、各地区から女性を選出する仕組みを導入。

想定以上にスムーズな選出と理事会の活性化

選出が難航するなど、地域から反発があるのではないかと懸念もあったが、地域で活躍されている女性たちが手を挙げ、想定以上にスムーズに選出が進んだ。地域の代表としての女性理事の発言も増え、理事会も活性化。

本インタビューは動画でご視聴いただけます
<https://myfarm.co.jp/women/empowerment/>

動画視聴はこちらから



【未来をひらく男女共同参画社会】⑧

「農林水産業における男女共同参画促進のための意見交換会」 ～男女でともに、未来へつなごう土地改良区～

令和6年11月21日(木)、農林水産業における男女共同参画促進のための意見交換会～男女でともに、未来へつなごう土地改良区～を開催しました。南砺市土地改良区、小松東部土地改良区、福井県土地改良事業団体連合会でご活躍中の女性理事及び事務長3名、また同団体の男性理事長・副理事長・総務課長3名の計6名にお話いただくとともに、北陸農政局からも、本田局次長、伊藤農村振興部長、久保地方参事官、石田土地改良管理課長が参加しました。オンラインでも、土地改良区、土地改良事業団体連合会、県、農業委員会、JAなど約80名の方に聴講していただきました。

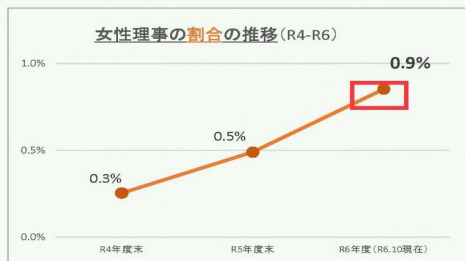


令和2年に閣議決定された第5次男女共同参画基本計画では、「誰もが性別を意図することなく活躍でき、指導的地位にある人々の性別に偏りがないような社会」を目指しており、土地改良区においても、組織運営に多角的な視点が加わり、運営体制の強化に資するものとして男女共同参画を推進しています。

土地改良区については、「令和7年度までに理事に占める女性の割合を10%に」という目標が設定されています。あわせて、監事、総代、職員についても男女共同参画を進めていくこととしています。

土地改良団体における女性の参画状況(北陸管内)

- 令和6年10月時点の北陸管内の土地改良区数は333地区、うち26地区において33名の女性理事が登用されている。
- 土地改良区の理事に占める女性の割合は0.9%で、全国の割合(1.4%)を下回っている。 ※いずれも連合を含む。



「固定的な性別役割分担意識」を乗り越えるために

私たちは、年齢や性別、出身地といった属性から、これまでに経験したことや見聞きしたことと照らし合わせ、他人や自分自身に対して固定したイメージを持つことがあります。その中で、個人の能力や資質とは関係なく、「男性だから」「女性だから」という性別を理由にして、仕事の役割分担や地域との関わり方を決めつけてしまうことがあります。これは「固定的な性別役割分担意識」と呼ばれ、知らぬ間に相手を苦しめたり、風通しの良い組織作りができない、地域の成長がなくなるなど、個人や組織、地域に様々なマイナスの影響を与えています。このようなマイナスの影響を防ぐには「固定的な性別役割分担意識」のもとである性別に基づく一方的な思い込みにとらわれないことが重要です。

そこで、性別に基づく一方的な思い込みへの対処方法や、取組の考え方をまとめました。

動き出そう 「性別に基づく一方的な思い込み」にとらわれない地域を目指して

POINT 1 気づく

誰もが一方的な思い込みを持つこと、思い込みの中には性別に基づく一方的な思い込みや決めつけがあることに気づきましょう。思い込みには周囲に対してだけでなく、自分自身に対するものもあります。思い込みによる決めつけは様々な弊害をもたらすことを知しましょう。

POINT 2 相手の「個性」や「能力」に着目

性別という属性ではなく、相手の個性や能力に着目して役割分担をしてみましょう。また、個人の資質を活かす組織設計や評価の仕組みを取り入れることが効果的です。

POINT 3 自分の意識の置きどころを変えてみる

自分の「性別」を理由にして、役職や役割を引き受けることに尻込みすることもあります。周囲から能力や資質が評価されているのだと、意識の置きどころを変えられるようにしましょう。

POINT 4 周囲の「フォロー」や「理解・協力」が不可欠

様々な人が社会で活躍するためには、周囲からのフォローや、家庭の理解・協力が欠かせません。誰もが個性や能力を発揮し、相互に助け合えるように仕組みや環境を整えていきましょう。

POINT 5 一人ひとりの能力を活かしているか「点検」

「自分は性別による一方的な思い込みや決めつけなどはしていない」と思う方もいます。自分の組織や地域において、役割分担は適切か？ 一人ひとりの能力を活かしているか？ 改めて点検する機会を設定してみましょう。

令和6年度農林水産省補助事業 女性が変える未来の農業推進事業



株式会社マイファームは女性農業者が、自身の能力を発揮して農業における様々な組織で活躍されること、農業を魅力ある職業として選択する方が増加し、地域の農業が活性化することを目指して事業に取り組んでいます

お問い合わせ

メールアドレス：women-pref.r4@myfarm.co.jp

電話番号：050-3343-7441(平日10:00～17:00)

Q 「地域枠での理事就任による変化は？」



JAみなみ筑後代表理事専務
柿原 光行 さま



POINT 地域の実情が反映される

現場の実情を踏まえた意見が意思決定に反映されるようになった。

以前は女性部からの選出のみでしたが、地域枠を設けたことで、地域ごとに女性理事が選ばれ、女性の意見もより多様になり、地域の課題が具体的に議論されるようになりました。また、女性理事自身も「自分たちの意見が求められている」という意識を持ち、発言が増えました。結果として、より活発で現場に根ざした議論ができるようになりました。

Q 「改選後に組合長に就任した印象は？」

女性理事が増えたことで、会議の雰囲気が変わり、より前向きな意見が出るようになりました。これまで以上にチームワークが強化され、協力しながら課題解決を進める空気が生まれています。組織全体が変わってきたと実感しています。



JAみなみ筑後代表理事組合長
大坪 康志 さま



POINT 会議の雰囲気が変わる

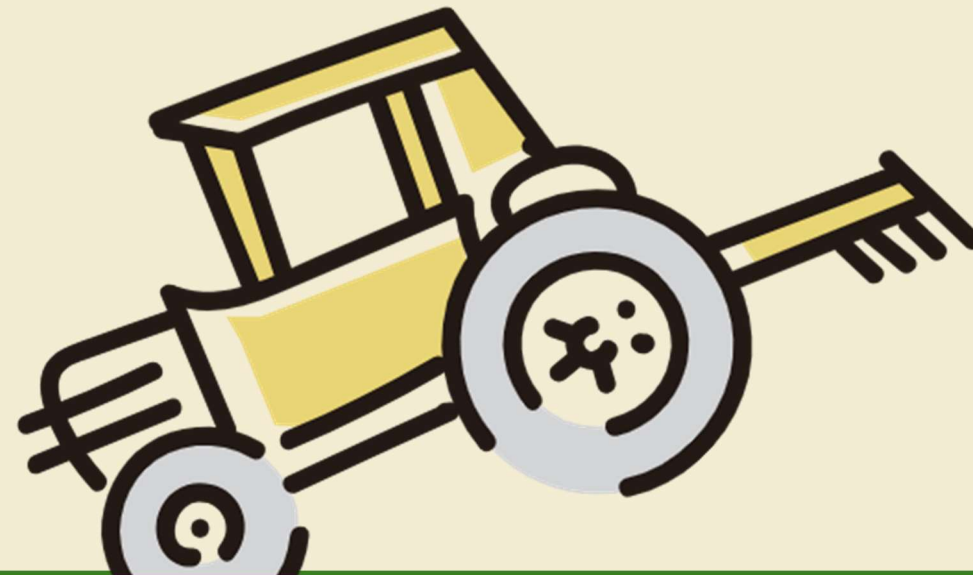
理事会での意見交換が活発になり、より多角的な議論が行われるようになった。

Q 「女性へのメッセージをお願いします」



JAみなみ筑後理事
只隈 貞子 さま

私自身、最初は何も分からず不安でした。しかし、やってみると、少しずつ自信がついてきました。誰もが最初は初心者です。だからこそ、まずは一歩踏み出してみしてほしい。女性の声がJAや農業、地域の発展につながると信じています。あなたの意見が、未来を変える力になります。



令和6年度農林水産省補助事業 女性が変わる未来の農業推進事業



株式会社マイファームは女性農業者が、自身の能力を発揮して農業における様々な組織で活躍されること、農業を魅力ある職業として選択する方が増加し、地域の農業が活性化することを旨として事業に取り組んでいます

お問い合わせ

メールアドレス：women-pref.r4@myfarm.co.jp

電話番号：050-3343-7441(平日10:00～17:00)

「農業女子プロジェクト」について ～概要～



趣旨

「農業女子プロジェクト」（2013年設立）は、農業内外の多様な企業・教育機関等と連携して、農業女子の知恵を生かした新たな商品・サービスの開発、未来の農業女子をはぐくむ活動、情報発信等を行い、社会全体での女性農業者の存在感を高め、女性農業者自らの意識の改革、経営力発展を促し、職業としての農業を選択する若手女性の増加を図ります。農業女子同士のネットワークづくりにも取り組んでいます。

参加メンバーデータ

(2025年3月31日現在)

農業女子メンバー

パートナー
(企業・団体)

はぐくみ隊
(教育機関、部活・サークル等)



全国 **1,091**名



38社



11団体

具体的な取組

企業プロジェクト

企業と農業女子プロジェクトメンバーが協同で新たな商品やサービスの開発等を行い、女性農業者の活躍や魅力を発信（それぞれの企業活動の一環として推進）

チーム“はぐくみ”

高校・大学等の教育機関（部活・サークル等含む）と活躍する魅力ある農業女子メンバーが連携し、農業を志す学生の発掘や動機づけ、意識の向上のための取組を実施

SDGs活動の発信

“農業者のわたしたちができる5つのこと”として農業女子メンバーのSDGs活動を発信

NEXTラボ

メンバーの関心の高いテーマについて勉強会等を実施

SNSやイベント等を活用した
女性農業者の魅力発信

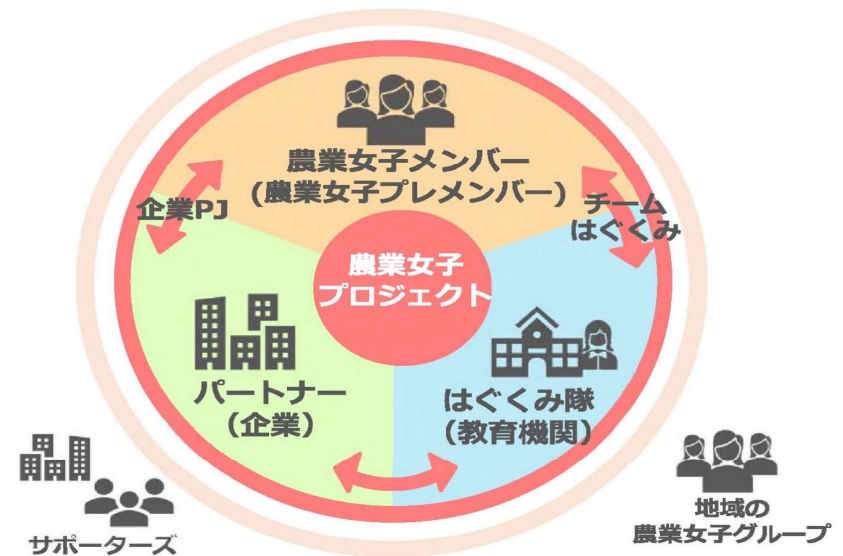


プロジェクトの目的

社会、農業界での
女性農業者の
存在感を高める

女性農業者自らの
意識の改革、
経営力の発展

若い女性の職業の
選択肢に
「農業」を加える



第12期 農業女子プロジェクトの活動方針

(2024年11月～2025年10月)

1. 人材育成機能の強化
2. パートナーズとの連携プロジェクトの活性化
3. 「農」の魅力を発信

農業女子プロジェクトメンバーに関するデータ (2025年3月31日現在)

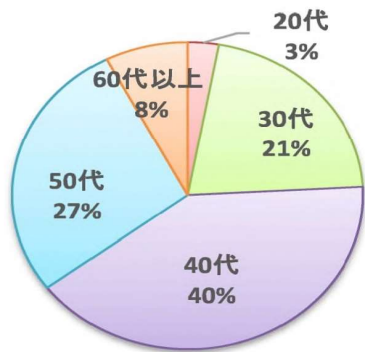


- 農業女子メンバー：1,091名
- 農業女子メンバーは20-40代が6割を占める

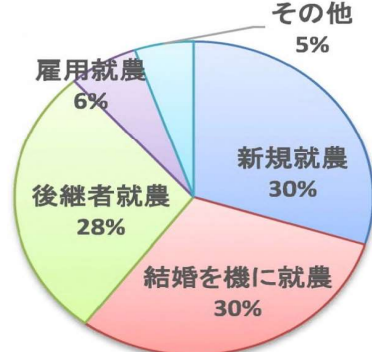
農業女子プロジェクトメンバー

- 農業女子メンバー（女性農業者）
- 農業女子プレメンバー（就農を目指す女性） **NEW!**

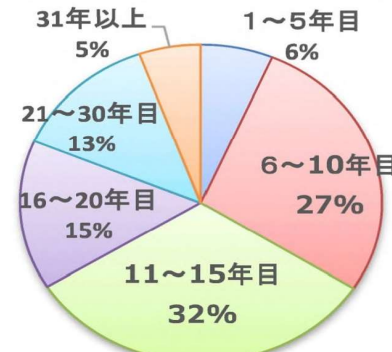
農業女子メンバー
年齢構成



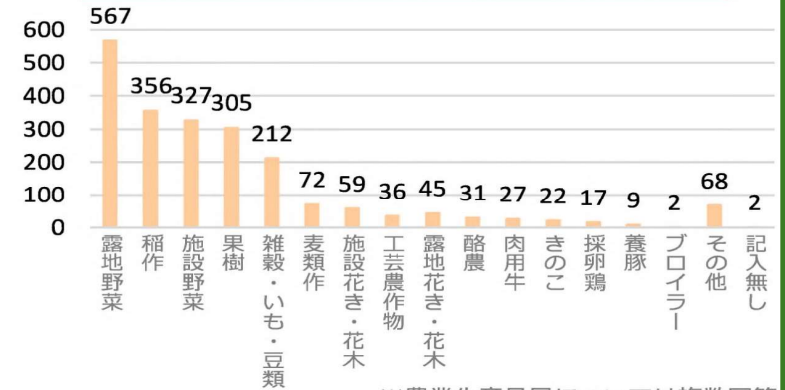
農業女子メンバー
就農ルート



農業女子メンバー
就農歴

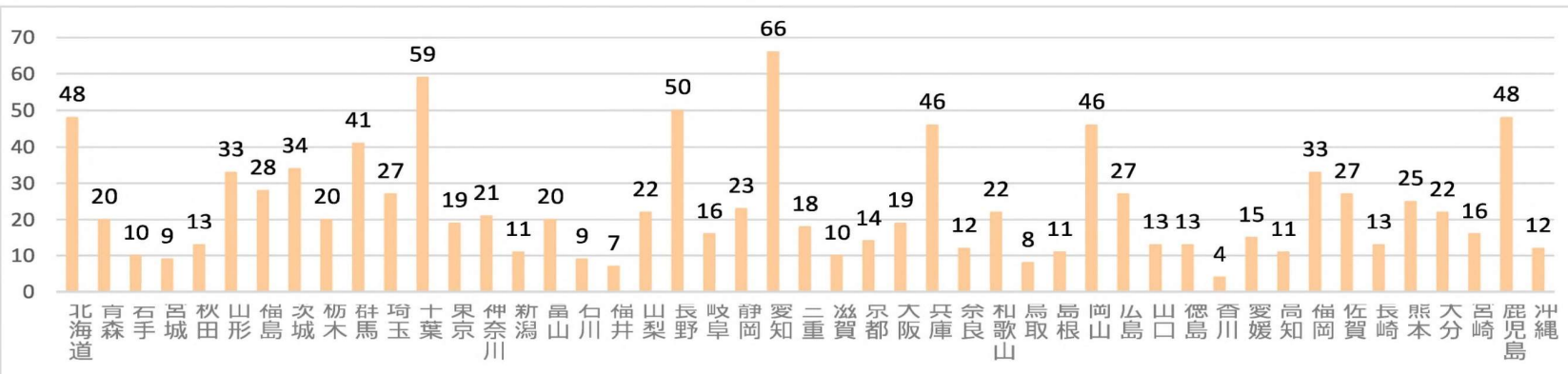


農業女子メンバー 農業生産品目



※農業生産品目については複数回答

都道府県別 農業女子メンバー数 (1,091名)



<メンバー募集中>

農業女子メンバー
の登録はこちらから



<https://nougyoujoshi.maff.go.jp/join/>

農業女子プレメンバー
の登録はこちらから



<https://forms.office.com/r/1RtKae1ZFh>

“持続可能な社会の実現のために 農業者のわたしたちにできる5つのこと”



5 ジェンダー平等を
実現しよう



農業女子が取り組んでいる「SDGs」につながる活動の中から5つのメインテーマを抽出し、農業女子に積極的に取り組んでほしいゴールとして設定。

〔農業女子たちの取組事例〕

その1 健康的な食生活の実現に取り組む



その2 農作業体験から“食”と“農業”の大切さを教える



その3 働きやすい環境をつくり、地域の主要産業になることを目指す



その4 農村の魅力を発信し、地域の農業を維持する



その5 自然によりそった持続可能な農業の実現に取り組む



保育所で「お迎えマルシェ」開催



学校給食への食材提供



小学校での出前授業、収穫体験



農を伝える絵本の制作・読み聞かせ 「AGRI BATON PROJECT」



女性が働きやすい職場づくり



スマート農業を活用した ストレスフリーな農業経営



町の人たちに地域の農の魅力を紹介



メディアを通じて農への想いを発信



貝殻等の海洋廃棄物を使った 循環型農業



ブドウの搾りかすで肉用牛を肥育



これまでの企業プロジェクトの主な成果



井関農機

女性も使いやすい農業機械を開発

◆農業女子草刈機『プチもあ』

[2017.12]

- ・動画で使用方法等を確認できるQRコードを添付
- ・サイドクラッチレバーやグリップを操作しやすく改良



◆耕転機『ちょこプチ』 [2016.12]

◆トラクタ『しろプチ』 [2015.6]

モンベル

農作業も快適な作業着を開発

◆フィールド クールパーカ Women's [2021.1]

農業女子の意見を取り入れて、素材やシルエットにこだわり、暑い季節の農作業を快適にする速乾性・通気性に優れたパーカを開発



◆フィールドもんぺ [2019.3]



◆フィールド レイン ジャケット Women's・フィールド レイン パンツ Women's [2018.9]

◆クリマプロ フィールドストレッチカバーオール women's [2016.9]

カネコ総業

女性も使いやすい農具を開発

◆【Lacuno】シリーズ

[2021.1]

- ・手になじみ、作業しやすく疲れにくいらくらくグリップシリーズ「Lacuno」(ショベル・キッズ鎌・鍬)の開発



◆【Lacuno】シリーズ (鎌・鍬・レーキ) [2018.11]

三越伊勢丹

消費者と農業女子をつなぐ接点の創出

◆三越銀座店でのコラボ商品販売 & PJメンバー出店 [2023.11]

- ・PJメンバーの食材を使ったコラボ商品の販売
- ・PJメンバーが出店し、生産品を通じて「農」の魅力を発信



ダイハツ工業

女性目線の軽トラック開発

◆女性目線の軽トラックの開発

[2014.9]

- ・カラフルな全8色のボディカラー
- ・UVカットガラス採用。フロアの高さを下げるなど乗降しやすく。



全国農協観光協会

都市住民と農業女子をつなぐイベントを開催

◆農業の魅力を伝える【農業女子つなぐPJ】 [2020.11~]

- ・「職業体験EXPO」などのイベントでPJメンバーによる農業の魅力発信
- ・親子で参加できる農業体験の開催

